

平成21年度香川大学「国際協力論」講義予定

平成21年4月8日現在

No.	月日	担当講師〔所属先・役職名〕	講座名	主な内容
1	4月13日	正楽藍(香川大学インターナショナルオフィス講師)、JICA四国支部、四国NGOネットワーク	ガイダンス、アンケート等、国際協力論基礎講座(1)	この授業の趣旨やスケジュールなどの概要を伝える。また、アンケート調査で受講生の意識や希望を聞き、今後の授業展開に生かす。また、ODA(政府開発援助)やNGO(非政府組織)など、国際協力の用語を学ぶ。
2	4月20日	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター 副理事長兼事務局長)	ラオスでの支援活動	ラオスの民主化の必要性と教育支援の現状を学び、地域と国際社会における市民社会の構築のあり方を考える。
3	4月27日	中尾秀一(難民事業本部 関西支部 支部長補佐)	難民問題と日本の対応	難民事業本部の活動について知り、参加型の学習で難民問題について考える。
4	5月11日	新納支部長(JICA四国支部長)	JICAから見た国際協力とは?国際協力の果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA、MDGs(ミレニアム開発目標)、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組みを学ぶ。
5	5月18日	正楽藍(香川大学インターナショナルオフィス講師)	国際協力論基礎講座(2)	国際協力、特に、国際教育協力の歴史と仕組みを学び、課題について考える。
6	5月25日	藤田紀久子(株式会社イオンフォレスト(THE BODY SHOP)コミュニケーション部 部長)	企業のCSR	国際協力、環境問題などに取り組むボディーショップのCSR(企業の社会的責任)活動を知り、企業のCSR活動について考える。
7	6月1日	相澤恭行(特定非営利活動法人PEACE ON 代表)	イラクでの支援活動	イラクの現状、そしてピースオンの活動について学ぶ。
8	6月8日	平篤志(香川大学教育学部 教授)	国際協力を様々な視点から捉える(社会経済、在日外国人問題等)	国際社会論入門ー日本社会の国際化の現状と課題について考える。
9	6月15日	山路徹(APF通信社 代表)	国際協力におけるメディア	ミャンマーの長井記者銃撃について知り、メディアの役割について考える。
10	6月18日	吉田修(特定非営利活動法人TICO 代表)	ザンビアでの医療支援活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動へ関わる重要性和地域市民との関わりについて学ぶ。
11	6月22日	伴武澄(共同通信社 賀川豊彦献身100年 広報委員長)	賀川豊彦の功績	徳島で育ち、戦前の貧困者救済のために身を捧げ、世界的な評価を得ている賀川豊彦の功績を学び考える。
12	6月29日	平野キャシー(一般社団法人セカンドハンド 代表理事)	カンボジアでの支援活動	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。
13	7月6日	柿沼瑞穂(財団法人オイスカ四国研修センター 研修課 主任)	オイスカの活動と海外研修生とのワークショップ	農村開発や植林活動について学ぶ。また、各国からの研修生とのワークショップを通じ、途上国への理解を深める。
14	7月13日	後藤尚子(セカンドハンド事務局)、林知美(えひめグローバルネットワーク事務局)	国際協力団体で働いて	国際協力団体で働くスタッフから、NGOで働くことになった経緯、やりがい、仕事に必要なスキルなどを聞く。